

日本数学会教育委員会からの報告

【教育委員会】

日時：2025年3月18日 11:00～12:30

場所：早稲田大学 早稲田キャンパス 14号館 4階 14-404

出席：9名

議事の概要は以下のとおりである．

1．教育シンポジウムの打ち合わせ

委員会後の午後2時から行われる教育シンポジウムの運営に関する打ち合わせを行なった．会場での担当係の割り振りを決め、また、参加者へのアンケートの内容を確定した．

2．次回委員会とシンポジウムの開催日程について

次回の委員会とシンポジウムは、学会3日目を第1候補、学会初日を第2候補として開催する（シンポジウムの講演者の都合により初日開催となる可能性もある）ことが了承された．（最終的に、講演者の都合により学会初日に開催されることになった．）シンポジウムの開始時間は、企画特別講演の終了時刻から少し時間を空けたほうがよいとの意見が出て、14:15開始とすることになった．

3．次回教育シンポジウムについて

次回シンポジウムは、現行の学習指導要領や統計教育などをテーマとして広く数学教育について考えるシンポジウムにすることになった．講師については委員長・副委員長で検討の上依頼することとなった．（宇野勝博氏（京都産業大学）、藤井良宜氏（宮崎大学）、高橋哲也氏（大阪公立大学）にお引き受けいただけることになった．）

4．次年度の委員長・副委員長、委員の交代について

川添、安野はそれぞれ委員長、副委員長留任となった．伊藤副委員長は3年目のため交代となるが、委員会の場では後任が決まらなかったため、現委員長・副委員長で後任について協議することとなった．佐野委員、本間委員、宍倉委員の退任が確認され、その他の出席者は継続となった．欠席者については後日確認することとなり、確認の結果、本田委員が退任することとなった．

【教育委員会主催シンポジウム】

日時：2025年3月18日 14:00～16:30

場所：早稲田大学 早稲田キャンパス 14号館 5階 14-502

今回の教育シンポジウムは、「新教育課程の下での大学入試—令和7年度大学入学共通テスト実施を受けて」というタイトルで行われた。司会は、伊藤由佳理 教育委員会副委員長が務めた。シンポジウム開会に際し、鎌田聖一 日本数学会理事長による挨拶があった。続いて、川添充 教育委員会委員長がシンポジウムの趣旨説明を行った。

最初の講演は、森下平氏（大学入試センター・審議役（兼）試験・研究統括補佐官）による「令和7年度大学入学共通テストについて」であった。講演の前半では、大学入学共通テストの実施概要について、共通テスト開始の背景の説明とともに、高等学校学習指導要領の改訂を受けた令和7年度共通テストの実施の概要（主な変更点や出題科目構成など）および問題作成方針についての説明がなされた。後半では、数学と情報について、それぞれの学習指導要領と問題作成方針に触れた上で、出題された問題内容が具体的に紹介された。

次の講演は、牛瀧文宏氏（京都産業大学教授）による「令和7年度大学入学共通テスト（数学）の問題分析～ここ数年の共通テストも踏まえて～」であった。講演の前半では、まずセンター試験から共通テストになって変わった点について述べられ、続けて、令和7年度大学入学共通テストの新課程と旧課程の問題構成（同一問題箇所や配点・ページ数など）の比較について述べられた。後半では、新課程になって新しく出題された内容を中心としつつも、新旧課程の本試験・追試験から具体的な問題を取り上げ、出題の特徴について詳しい解説がなされるとともに、各問題の教材としての発展性にまで踏み込んだ紹介がなされた。また、情報Iの問題の中から統計に関する問題も取り上げ、解説していただいた。

今回もそれぞれの講演後に質疑応答の時間を設け、更に別途ディスカッションの枠も設定した。ディスカッションでは、歌川真一郎氏（大学入試センター・試験問題調査官）も交えて活発な議論が行われた。65名の参加があった。

文責 教育委員会委員長 川添 充